

法学部法律学科 2021年度生 科目登録にあたって（学習指導資料）

はじめに

大学の時間割表にはたくさんの科目が掲載されています。その中から自分がどの科目を学修するかを選択して、大学に届け出なくてはなりません。この、自分が学修する科目を大学に届け出る行為を「**科目登録**」と呼んでいます。お届けした冊子類には、登録関係書類、法学部・法学会関係書類、学生支援センター・国際センター等から、学生生活に関する書類等多くの書類が含まれています。その中で、特に重要ですぐに読んでほしい登録関係書類等は以下のとおりです。各手続きの期間・期日を必ず確認するようにしてください。

冊子・書類名		説明・備考
<input type="checkbox"/>	★法学部履修要項（2013年度以降生用）	法学部で学ぶ上で一番基本となる冊子。カリキュラムや設置科目・開講科目などが掲載されています。
<input type="checkbox"/>	★法学部 科目登録の手引き【登録要領】	登録時、特に注意が必要な科目（先行登録科目等）について記載されています。
<input type="checkbox"/>	★全学共通教養教育科目履修要項	全学共通教養教育科目に関する開講科目が掲載されています。
<input type="checkbox"/>	★科目登録にあたって（学習指導資料）	登録にあたっての要領や注意すべき点などが解説されている冊子（この冊子）。
<input type="checkbox"/>	免許・資格関係履修要項	教員免許・図書館司書・学芸員・司書教諭・学校司書プログラムの資格等を取得するためのカリキュラム等が掲載されている冊子。
<input type="checkbox"/>	★法学部授業時間割表	法学部生が登録することのできる授業の時間割が掲載されています（自由科目・他学部科目を含む）。
<input type="checkbox"/>	★同志社大学外国語学習ガイドブック	全学共通教養教育科目の外国語に関する案内と担当教員の紹介などが掲載されている冊子。
<input type="checkbox"/>	法曹をめざすあなたへ	法曹（裁判官・検察官・弁護士）養成を目的とした法曹養成プログラムや、早期卒業について紹介されている冊子。

【重要】

- ◆科目登録にあたっては、上記の★印がついた資料を手元に用意してください。そのうえで、この冊子の解説にしたがって、実際に時間割を組んでいく作業を行ってください。
- ◆この冊子と『法学部履修要項（2013年度以降生用）』（以下、『履修要項』という）の10頁～28頁（政治学科の部分は除く）を、4月2日（金）までに熟読し、内容を把握してください。
- ◆学修支援システムDUE T（以下、DUE Tという）のメッセージにて、新入生向けの学習指導動画配信についてお知らせしていますので、あわせて確認してください。

科目登録にあたって

科目の登録に際しては、まず『履修要項』の「Ⅰ. 新入生のみなさんへ」でカリキュラムをイメージし、「Ⅱ. 履修計画をたてる前に」で履修に際しての用語等を確認してください。そのうえで、「Ⅲ. 履修計画について」で、履修科目選択の手順を参照しながら履修計画を立ててください。

科目登録の方法としては、①**先行登録**（定員に制限がある科目等を一般登録に先立ち登録）、②**一般登録**（先行登録科目以外の講義科目等の登録）の2段階となっています。

登録期間等、具体的な登録の要領については『科目登録の手引き【登録要領】』（以下、『登録要領』という）を参照してください。先行登録については科目により登録受付、決定発表等の日時が異なりますので注意してください。なお、先行登録科目であるか否かは『履修要項』の「Ⅸ. 開講科目一覧」の備考欄を参照してください。

以下には法律学科新入生のみなさんが、差し当たりどのような科目を優先して履修しなければならないのかの具体的な流れを記載しています。

I. 時間割作成(履修科目の選択):①～④の順に時間割を作成してください。

①. 1類科目(入門科目:「リーガル・リサーチ」)は法律学科新入生全員に登録を義務づけている科目で、春学期に開講されます。登録は、大学が一括して行いますので、各自で登録する必要はありません。また、学生IDによりクラス指定をしています。各自DUE Tを参照し、指定されたクラスの時間割を確認してください。その曜日講時には他の科目を登録することはできません。なお、指定されたクラス以外への変更はできません。

②. 2類科目(基礎科目)は1類科目と同じく、法律学科生全員に登録を義務づけている科目であり、1類科目同様に登録は、大学が一括して行いますので、各自でする必要はありません。また、学生IDによりクラスを指定して登録しています(下記時間割表には学生ID下4桁が表示されています)。

次表は大学が一括して登録する科目(春学期の「リーガル・リサーチ」を除く)を示した時間割表です。

リーガル・リサーチを含めて春学期に12単位、秋学期に10単位、合計22単位を大学側が一括登録します。講義内容および講義形態(対面/オンライン等)は『シラバス(講義内容の詳細が書かれたもので同志社大学ホームページで検索可能)』で確認してください。1年次生の年間最高登録単位数は40単位ですので、空いている時間に残り18単位を春・秋に分けて各自で登録してください。既に一括登録されている曜日講時には他の科目を登録することはできません。

春学期	1	2	3	4	5	6	7
月		○アナリチカル・リーディング			○法と社会-1 (学生ID:0001~0350) ○法と社会-2 (学生ID:0351~終)		
火		○刑法概論-1 (学生ID:0001~0350)	○コミュニケーション・イングリッシュ		○基本的人権概論-1 (学生ID:0001~0450) ○基本的人権概論-2 (学生ID:0451~終)		
水							
木							
金	○刑法概論-2 (学生ID:0351~終)		○民法概論-1 (学生ID:0001~0200) ○民法概論-2 (学生ID:0201~0400)		○民法概論-3 (学生ID:0401~0600) ○民法概論-4 (学生ID:0601~終)		春学期一括登録 12単位 (リーガル・リサーチ含む)

秋学期	1	2	3	4	5	6	7
月		△アナリチカル・リーディング	△国際社会と法-1 (学生ID:0001~0350)	△国際社会と法-2 (学生ID:0351~終)			
火		△商法概論-1 (学生ID:0001~0350) △商法概論-2 (学生ID:0351~終)	△コミュニケーション・イングリッシュ	△民事手続法概論-2 (学生ID:0351~終)	△民事手続法概論-1 (学生ID:0001~0350)		
水							
木	△刑事手続法概論-1 (学生ID:0001~0350)						
金	△刑事手続法概論-2 (学生ID:0351~終)						秋学期一括登録 10単位

③. ①・②の登録必修科目の時間割を確認後、先行登録科目(主に外国語科目)についての登録を検討してください。まず、外国語関係科目(6類)の登録(先行登録)について説明します。

外国語関係科目(6類)の卒業に最低限必要とされる単位数は、英語8単位、第二外国語8単位で、1・2年次のうちに修得することが望ましいとされています。

<1年次の登録の一例>

英語: コミュニカティブ・イングリッシュ 1・2 週1コマ 年間で計2単位 ※大学側一括登録

アナリチカル・リーディング 1・2 週1コマ 年間で計2単位 ※大学側一括登録

第二外国語: 各外国語入門 I・II 週2コマ 年間で計4単位

英語

・コミュニケーション・イングリッシュ 1・2 (週1コマ)

この科目は全学共通教養教育科目で、授業は春・秋共に火曜3講時に行われます。入学前に受験したプレイスメントテストの結果に基づき、3段階のレベルにクラス分け(High-intermediate、Intermediate、Pre-intermediate)をし、春・秋セットで大学が一括して登録を行いますので、各自

で登録する必要はありません。その他詳細については『登録要領』を参照してください（プレイスメントテスト未受験者は4月3日（土）10：30までに自宅等のパソコンで受験してください）。登録を希望されない方は、4月4日（日）までに今出川キャンパス教務センター（法学部）【良心館1階】に申し出てください。なお、登録を希望されない方でも、プレイスメントテストは必ず受験してください。

・アナリティカル・リーディング1・2（週1コマ）

この科目は全学共通教養教育科目で、前述の時間割表にも記載しているとおり、授業は春・秋共に月曜2講時に行われます。この科目の登録は、春・秋セットで大学が一括して行いますので、各自で登録する必要はありません。各自DUETを参照し、指定されたクラスを確認してください。その他詳細については『登録要領』を参照してください。登録を希望されない方は、4月4日（日）までに今出川キャンパス教務センター（法学部）に申し出てください。

※その他、「原典講読（アメリカの法と政治）」「原典講読（イギリスの法と政治）」も開講されています。これは法学部独自の科目で、アメリカ・イギリスの法律や政治に関する外国文献に触れることができます。登録を希望される方は、『登録要領』を参照してください。

第二外国語

・（ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語）入門Ⅰ・Ⅱ（週2コマ）

これらの科目は全学共通教養教育科目で、授業は春・秋共に水曜1講時と金曜4講時に行われます。『登録要領』を参照し、各自、希望する言語を選択してください。第5希望まで申請することが可能です。登録は指定された日時にDUET（「Ⅱ. 登録の方法」参照）にて行います。

・（ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語）インテンシヴⅠ・Ⅱ（週3コマ）
入門Ⅰ・Ⅱの代わりに、インテンシヴⅠ・Ⅱを登録することも可能です。インテンシヴは全学共通教養教育科目で、授業はクラスごとに曜日講時が異なります。『登録要領』を参照し、各自登録を行ってください。登録は指定された日時にDUET（「Ⅱ. 登録の方法」参照）にて行います。

※その他、「原典講読（ドイツの法と政治）」「原典講読（フランスの法と政治）」「原典講読（中国の法と政治）」「原典講読（スペインの法と政治）」「原典講読（ロシアの法と政治）」も開講されています。これは法学部独自の科目で、ドイツ・フランス・中国・スペイン・ロシアの法律や政治に関する外国文献に触れることができます。登録を希望される方は、『登録要領』を参照してください。

外国語関係科目の他にも、先行登録の科目がありますので、『登録要領』の「Ⅴ. 先行登録科目」を参照し、確認してください。

- ④. 登録必修科目、先行登録科目（主に外国語関係科目）についての時間割案が固まったら、最高登録単位数（「Ⅱ. 登録の方法」参照）までの残りの単位数分で、1・2・6類以外の科目（全学共通教養教育科目、他学科（政治学科）科目、関連領域の科目等）を登録してください。その際には、

- (1) 『法学部時間割表』
- (2) 『履修要項』の「Ⅷ. 設置科目一覧」「Ⅸ. 開講科目一覧」
- (3) 『シラバス』（同志社大学ホームページで検索可能）

上記3点を参照しながら検討してください。科目によって、受講できる年次（配当年次）が異なるものや、同一科目でも学年によって履修できる科目コードが異なるもの等があります。上記3点を注意深く確認し、履修登録を進めてください。特に、設置科目一覧に記載のない科目については、履修できても卒業必要単位数には含まれませんので注意してください。

Ⅱ. 登録の方法

科目の登録は先行登録科目の一部を除いて、DUETから行います。WEB登録の詳細はDUETに掲載されている『WEB先行登録システム利用上の注意』『WEBによる履修科目登録利用上の注意（一般登録用）』を参照してください。インターネット環境下であれば、自宅のパソコン等からでも手続き可能です。

1. 大学で一括して登録される科目（1・2類科目、コミュニケーション・イングリッシュ1・2、アナリ

ティカル・リーディング1・2)は事前に登録されています。時間割を確認し、空いている時間帯に時間割重複のないよう**外国語等の先行登録科目の申請**をしてください。また、申請をした科目・クラスが当選(決定)したか否かを必ず確認してください。先行登録科目の募集方法や選考結果発表は科目によって日時、方法が異なるため、『登録要領』で確認してください。

2. 先行登録が終われば**一般登録(先行登録科目以外の講義科目等の登録)**を行います。1年次生のみなさんは**1・2・6類以外の科目**(全学共通教養教育科目、他学科(政治学科)科目、関連領域の科目等)を登録してください。ただし、第1年次で登録できる**年間最高登録単位数は40単位、学期最高登録単位数は30単位**となっていますので、登録科目の単位数を計算し、制限単位数以内であることを確認してください。以上で、本年度登録履修する科目とその時間割が決まります。
※登録していない科目を受講して学期末試験等を受験しても単位は認められません。
3. D U E Tで登録する際には、自分が登録した科目の登録に誤り(エラー)が生じていないかを確認してください。『WEBによる履修科目登録利用上の注意(一般登録用)』にもあるように、D U E Tでの一般登録は受付期間内であれば何回でも登録科目を変更することが可能ですので、エラーが生じている場合はエラー科目を修正し、改めて登録手続を行ってください。また、**登録を完了すると大学が交付した電子メールアドレスに確認メールが届きますので、その内容を必ず確認してください。ただし、確認メールは履修科目登録後すぐには届かないことがありますので注意してください。**
4. 4月7日(水)から授業が始まりますので、登録した科目の授業に出席してください。インターネットを活用した授業のうちオンデマンド形式の場合は、担当者から送られてくる資料を確認してください。ただし、登録手続はまだ完了した訳ではありません。**4月12日(月)～14日(水)**に『登録科目確認表』をD U E Tからダウンロードし、登録科目に誤りがいないか、また登録エラーが生じていないかを確認してください。エラーが生じている場合には、**4月12日(月)～14日(水)**に修正を受け取りますので、必ずエラー修正を行ってください。なお、このエラー修正では、エラーを修正するだけで、登録科目の変更には一切対応しません。登録エラーを放置した場合は、一定期日をもって該当登録科目を強制削除します。
5. 4. でエラー修正を行い、エラーが完全になくなれば登録手続は完了となります。なお、講義開始約1ヶ月後に、望ましい評価が得られないと判断した科目については、一定の条件のもとに登録科目の履修の中止を認める**履修中止受付期間(5月1日(火)・12日(水))**がありますので、D U E T上で手続を行ってください。
※科目の履修および登録手続に関する質問や不明な点のある方は、「法学部履修相談」を活用してください。日程や相談方法については、法学部事務室から送られるD U E Tのメッセージを参照してください。

Ⅲ. その他

1. 大学においては、みなさんへの連絡事項はD U E Tのメッセージや、法学部ホームページ(<https://law.doshisha.ac.jp/>)、学内の掲示板を通じてお知らせします。内容によって、情報の提供媒体が分散しています。それぞれ随時確認するように心がけてください。
2. 緊急時には電話で連絡する場合があります。以下の番号から着信があった場合、折り返し連絡をしてください。電話番号の変更があった際は、速やかにD U E T上の「住所変更」欄にある電話番号を修正してください。
同志社大学法学部・法学研究科事務室 TEL:075-251-3511
※電話帳への登録をお願いします
3. 「D U E Tでの申請手続に関する注意」を『登録要領』6頁に掲載しています。D U E Tで登録を行う前に、必ず確認するようにしてください。
4. みなさんの修学上のいろいろな問題や事務上の多くの事柄は、今出川キャンパス教務センター(法学部)で取り扱っています。気軽に来室してください。
5. 登録日程の詳細については、『登録要領』の裏表紙を参照してください。